文教児童委員会資料
令和２年９月２８日
教育委員会事務局教育支援センター

GIGA スクール構想の進捗状況と活用イメージについて

１　進捗と今後の予定

	校内工事	ＯＳ選定	ソフトウェア選定	タブレット調達	保護者対応	クラウド利用	タブレット配備	インターネット高速化	活用ワーキンググループ
令和２年 ６月	6/12　事業者選定起案	6/24　代表校長会で審議 6/25　Chromebook を意思決定 6/25　教育委員会へ報告	6/5　区長・議長へデモ実施 6/19　区議へデモ実施 6/26　小・中学校教員の選定会開催						
７月			7/8　定例校長会で選定説明 7/10　ミライシード（ベネッセ社）を意思決定 7/16　教育委員会へ報告	7/17　リース事業者選定起案	7/3　審議会で説明実施 7/28　小委員会で説明実施		7/15　教職員アンケート実施 家庭のネットワーク調査実施		
８月	事業者決定				8/5　小委員会で学校視察及び説明実 8/18　会長と協議 8/24　小委員会で審議 8/31　審議会で審議（最終判断）				
９月	作業開始								
	以下は予定								
				事業者決定		登録作業と	9/　配備事業者選定起案		開始
１０月						実証事業			
１１月						先行校で本格実施			
１２月									
令和３年 １月						全校で実施			
２月									
３月	作業終了						全員に配備（一人一台化完了）		
４月								事業者選定起案	
５月									
６月								事業者決定	
７月								作業開始	
８月								作業終了	
９月								高速化	終了

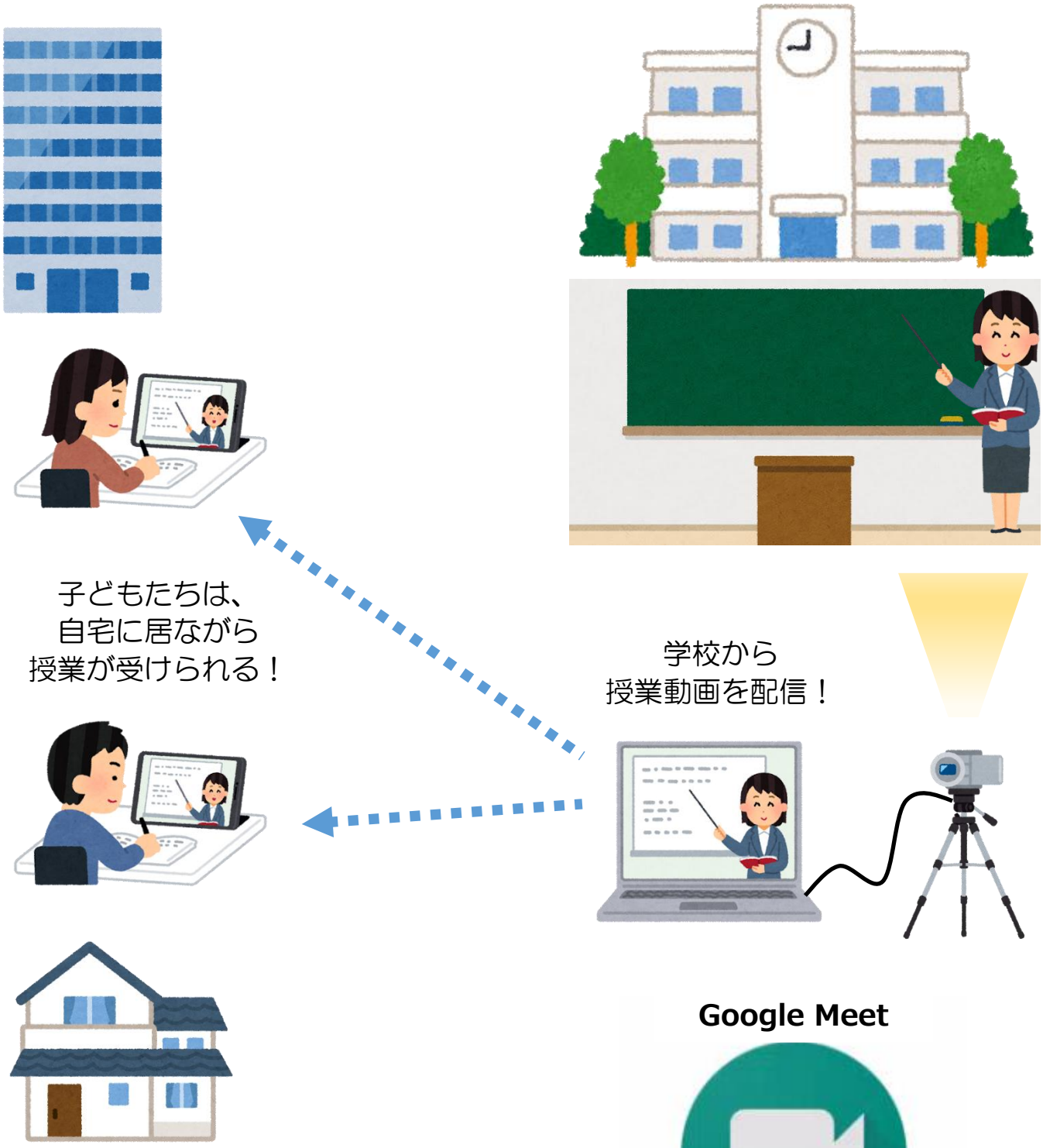
２　小・中学校におけるタブレットの活用（イメージ）

	小学校低学年 （１、２年生）	小学校中学年 （３、４年生） 低学年に＋して	小学校高学年 （５、６年生） 低・中学年に＋して	中学校 （７、８、９年生） 小学生に＋して
目的	タブレットに興味をもち、慣れる。簡単な操作ができる。 タブレットを使った学習になれる。 手書き入力で文字・数字が書ける。	個別学習や課題解決などに活用し、より多くの場面で活用することができる。	プログラミング学習に取り組む。 タイピングができるようになる。 日々の授業でタブレットを活用した効果的な授業を受ける。	文書作成・表計算・プレゼンテーションソフトなどを活用することができる。
手段	写真や動画を撮る・見る・保存する。協働学習支援ソフトが使える。 教科書の QR コードから検索する。 手書き入力で文字や数字を入力する。 個々のレベルに合わせた個別学習をする。学習作品・学習成果を保存する。 学習ソフトなどを活用したプログラミング教育を学習する。 	タイピングの練習をする。簡単な文章が書ける。 通信機能を活用し、他の学校と交流する。	文章を打ったり、グラフが作成できる。 文章やグラフ、画像を用いて複雑な資料が作成できる。 	プレゼンテーションソフトなどを用いて資料を作ることができる。
授業における活用頻度（使用場面）	写真や動画、検索機能を使った授業で **１日２場面以上**	個別学習、通信機能を活用して **１日 3～4 場面以上**	中学年以上の場面で活用して **１日４場面以上**	教科の特性を活用して **１単元で２場面以上**
個別学習使用場面	○朝学習 → ○放課後補習教室 → ○長期休業期間補習教室 →			
9 年間の継続した学習記録	○授業や学習成果の積み重ね・記録 →いつでもどこでも振り返り学習ができる →			

３　オンライン授業の例（イメージ）

休校時に学校と家庭を繋いで授業を実施！
不登校の子どもへの授業の提供！

使用ソフト：Google G Suite for Education「Google Meet」



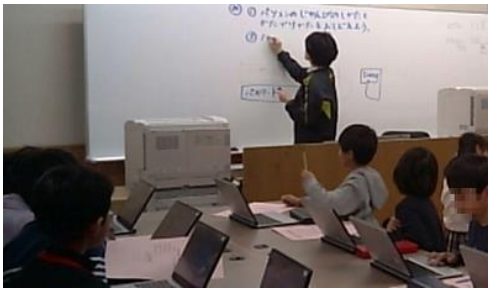
４　小学校低学年　１人１台（班ごとに１台）タブレット活用授業の例

算数科　「くり上がりのあるたし算」

概　要　　たし算の習熟をねらいとして学習サイトを活用し、飽きることなく繰り返し色々な問題にチャレンジ

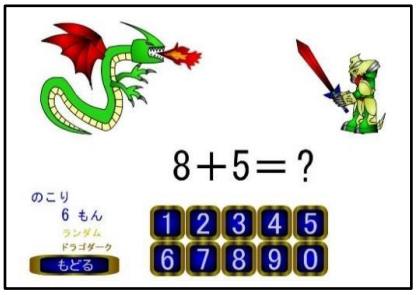
①インターネットで Yahoo！キッズにアクセス

②勇者計算騎士 ナリガイガーにアクセスし、くり上がりのあるたし算に挑戦



板書で目当てを伝える

ナリガイガーの画面（参考）



生活科　「楽しい秋いっぱい　見つけた秋を紹介しよう」

概　要　　秋を感じて作った作品の写真を撮り、SKYMENU の発表ノートで紹介文を書き込み、発表する。

①作品の写真を撮り、発表ノートに取り込む

②手書き変換機能を使用して文章を入力

作成の様子

発表ノート手書き変換機能の画面

作品

体育科　「マット運動」

概　要　　最初に見本の動画で技の良いイメージをもち、自分の様子を再生で見て完成度を高める

①見本のインターネット動画を見て上手にできるためのイメージをもつ

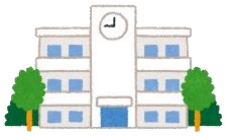
②お互いにマット運動の様子を動画で撮影、見合い、アドバイスすることで自身の技術を修正

見本の動画でイメージをもつ

お互いに撮影しあう

自身の動画を見てアドバイスを受ける

5　家庭学習の例（イメージ）

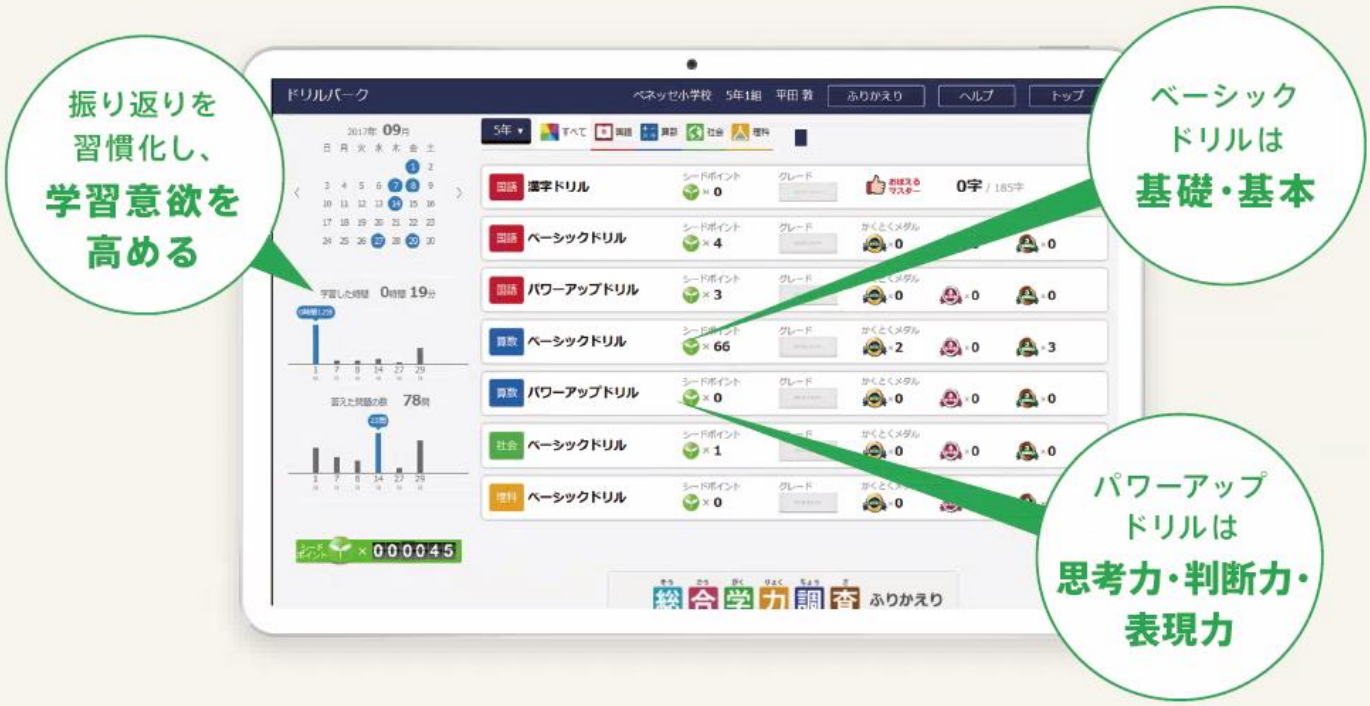


普段から家庭学習で！　休校や登校自粛時に自宅での学習で！
不登校の子どもの学習支援に！

使用ソフト：ベネッセミライシード「ドリルパーク」

課題・宿題を配信！

進捗・正解率など個別の
取り組み状況を把握！



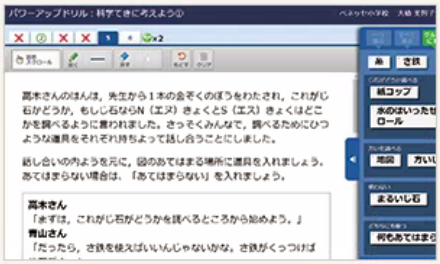
知識の定着や理解を深めるドリル設計

教科書や問題特性に合わせた出題・解答形式

1問1問、身につけたい力や解き方に合わせた、最適な回答パターンの出題。回答は自動で正誤判定し、即時フィードバック。間違えた問題もピックアップして解き直せるので、つまずきを残さず、効果的に学力を伸ばせます。

■1問ごとに即時正誤判定

■分類問題はグループ分けで



■漢字の書き取りは手書きで

正解はうれしい
花丸！

子供たちの学習履歴を把握し、指導に生かす先生機能

学習履歴をひと目で把握

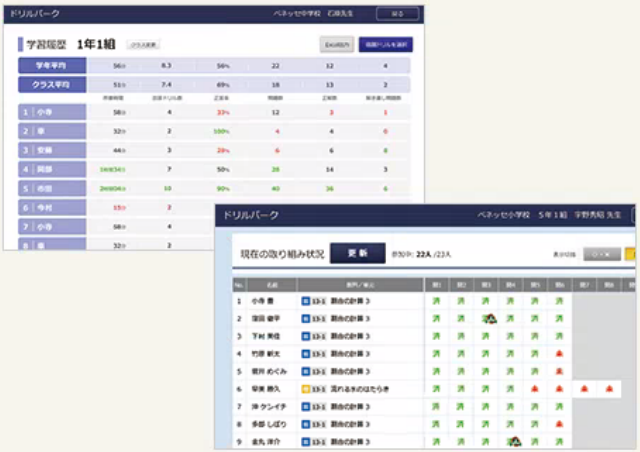
学年・クラスの平均やクラス内での注目すべき子供、つまずいている問題がひと目でわかり、効果的な個別指導に生かせます。

リアルタイムに取り組み状況を確認

クラスの学習状況をリアルタイムに把握することができるので、つまずいている子供に、すぐに指導ができます。

子供に向けてコメントを配信

学習状況を確認し、子供一人ひとりに対してコメントを配信することができます。見えない努力を評価してあげることで自信に繋がります。



任意の問題を配信し、宿題として活用可能

ドリルパークの任意の問題や、先生が自作した問題を配信することで、宿題ドリルとして子供たちに提示することができます。端末持ち帰り学習などICT活用の場が広がる取り組み事例が増えています。

■先生が宿題配信

■子供画面に宿題ドリル